

## 講演概要

### JIIA-Stanford Symposium: The Past, Present, and Future International Order in East Asia

Bechtel Conference Center, Encina Hall, Stanford University

2019年5月10日（金）



東アジアの国家間関係は今、重要な岐路に立っています。1951年に締結されたサンフランシスコ平和条約により形成された東アジアにおける戦後地域秩序は、挑戦に晒されています。「サンフランシスコ体制」を維持することは可能なのか、もし可能でない場合、これに代わる新たな体制とはいかなるものなのかという疑問に対し、依然として明確な答えはありません。この「サンフランシスコ体制」の源流は、第一次大戦後に成立した「ワシントン体制」に見出すことができます。これら両体制の成功と限界とを検討することによって、アジアにおける国際システムの興隆と衰退に関する多くの示唆を得ることができます。

本シンポジウムは、スタンフォード大学ショーレン斯坦・アジア太平洋研究所（APARC）と共同で開催されました。当日は、第一次大戦後から現在を射程に、東アジアにおける政治・経済・安全保障のシステムが確立し進化してきた時代背景や、それらのシステムを確立させた要因、また反対に衰退させた要因に関する検討が行われたのち、将来の地域秩序のあり方について議論されました。

第一部：「ワシントン体制」と「サンフランシスコ体制」の比較：東アジアにおける国際秩序の興隆と衰退

## 退

第一部では、「ワシントン体制」および「サンフランシスコ体制」のそれぞれの性質を比較したうえで、両体制の安定化・不安定化の要因や、今日の政策実践に活かされうる教訓について議論されました。

## 第二部：日本、米国、中国の国益と安全保障戦略

第二部では、日本、米国、中国の国家安全保障上の目標と、その達成に向けた各国の戦略について議論されました。それに加え、三か国それぞれの二国間関係および三国間関係が東アジアの平和と安定に對してどのように影響するかが検討されました。

## 第三部：代替的な東アジアの体制

第三部では、地域において今後成立しうる新しい秩序について、日米中の相互関係がどのように影響するかという点に主眼を置きつつ議論されました。そのほか、「ワシントン体制」、「サンフランシスコ体制」のそれぞれから得られる教訓について指摘がありました。

## プログラム

### **JIIA-Stanford Symposium: “The Past, Present, and Future International Order in East Asia”**

Shorenstein Asia Pacific Research Center (APARC), Stanford University

&

Japan Institute of International Affairs (JIIA)

Friday, May 10, 2019

#### **9:15 am-9:30 am - Welcome Remarks**

Gi-Wook Shin, Director, APARC, Stanford University

Kenichiro Sasae, President, JIIA

Takeo Hoshi, Director, Japan Program, APARC, Stanford University

#### **9:45 am-11:30 am - Panel 1: Comparing “the Versailles-Washington System” and “San Francisco System”: Lessons from the Rise and Fall of International Orders in East Asia**

Chair: Daniel Sneider, FSI, Stanford University

Panelists: Shin Kawashima, University of Tokyo  
Masaya Inoue, Seikei University  
Lin Hsiao-ting, Hoover Institution, Stanford University  
David Kennedy, FSI, Stanford University  
Rapporteur: Thomas Wilkins, Senior Visiting Fellow, JIJA

**1:15 pm-3:00 pm - Panel 2: Japanese, U.S. and Chinese Interests and Security Strategies**

Chair: Kenichiro Sasae, President, JIJA  
Panelists: Ken Jimbo, Keio University  
Tetsuo Kotani, JIJA  
Mike Lampton, APARC, Stanford University  
Jim Schoff, CEIP  
Rapporteur: Jonathan Berkshire Miller, Senior Visiting Fellow, JIJA

**3:30pm-5:15pm - Panel 3: Alternative Future East Asia Systems**

Chair: Phillip Lipsky, APARC, Stanford University  
Panelists: Jim Fearon, FSI, Stanford University  
Ryo Sahashi, University of Tokyo  
Kenichiro Sasae, President, JIJA  
Tom Christensen, Columbia University  
Rapporteur: Thomas Wilkins, Senior Visiting Fellow, JIJA

**5:15 pm-5:35 pm - Rapporteurs' review of symposium discussions**

**5:35 pm-5:45 pm - Closing Remarks**

Karl Eikenberry, US-Asia Security Initiative, APARC, Stanford University  
Kenichiro Sasae, JIJA